

釧路市がめざす学校のすがた基本計画（素案）からの変更箇所

素案	案
<p>2. 釧路市の義務教育をめぐる現状と課題（P5）</p> <p>(2) 学力の向上や学習意欲について</p> <p>令和3年度全国学力・学習状況調査では、釧路市の小学校では、国語が全国・全道平均を上回り、算数についても全道平均を上回っており、各学校が進めている授業改善が一定の成果として現れてきている一方、中学校では国語・数学ともに全国・全道平均を下回っています。令和3年度全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問調査では、「国語・算数（数学）の勉強は大切だとおもいますか」という設問に「当てはまる」と回答した割合は中学校では低下しています。また、学校の授業以外の平日1日あたりの勉強時間については、全国平均よりも低くなっており、中学校段階で、学習意欲が減少していることが課題として考えられます。</p> <p>・表「令和3年度全国学力・学習状況調査 平均正答率」</p>	<p>2. 釧路市の義務教育をめぐる現状と課題（P5）</p> <p>(2) 学力の向上や学習意欲について</p> <p><u>令和4年度全国学力・学習状況調査では、釧路市の小学校では、理科が全国・全道平均を上回り、国語、算数についても全道平均を上回っており、各学校が進めている授業改善が一定の成果として現れてきている一方、中学校では国語、数学、理科の全ての教科が全国・全道平均を下回っています。令和4年度全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問調査では、「国語・算数（数学）の勉強は大切だとおもいますか」という設問に「当てはまる」と回答した割合は中学校では低下しています。また、学校の授業以外の平日1日あたりの勉強時間については、全国平均よりも低くなっており、中学校段階で、学習意欲が減少していることが課題として考えられます。</u></p> <p><u>・表「令和4年度全国学力・学習状況調査 平均正答率」 変更</u></p>
<p>5. 小中連携・小中一貫教育の推進体制（P15）</p> <p>(3) 施設一体型義務教育学校設置の推進</p> <p>表内 編入校「音別中・音別小の義務教育学校」</p> <p>※¹ 音別小・音別中による義務教育学校の使用校舎については、防災の観点から検討を継続します。</p>	<p>5. 小中連携・小中一貫教育の推進体制（P15）</p> <p>(3) 施設一体型義務教育学校設置の推進</p> <p>表内 編入校「<u>音別中</u>・音別小の義務教育学校」</p>

6. 取組の進め方

(1) 年次別実施計画 (P16)

年度	学区再編策	学区再編に向けた準備・推進内容
8	◎大楽毛小と大楽毛中による義務教育学校開校 ○鶴野小の一部を大楽毛小と大楽毛中による義務教育学校に編入	令和11年度開校予定校の準備協議会の設置
9	◎音別小と音別中による義務教育学校開校	学校のすがた基本計画の中間検証実施 令和12年度開校予定校の準備協議会の設置

6. 通学区域再編と義務教育学校開設の実施年次

(1) 年次別実施計画 (P16)

年度	学区再編策	学区再編に向けた準備・推進内容
8	◎大楽毛小と大楽毛中による義務教育学校開校 ○鶴野小の一部を大楽毛小と大楽毛中による義務教育学校に編入 ◎音別小と音別中による義務教育学校開校	令和11年度開校予定校の準備協議会の設置
9		学校のすがた基本計画の中間検証実施 令和12年度開校予定校の準備協議会の設置

7. 今後の進め方

(1) 通学の安全 (P18)

通学路の変更を伴う場合、学校、PTA、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動推進員等により構成を予定している開校準備協議会の中で協議しながら、通学路や通学距離の実態を把握し、スクールバス等の導入などについて、義務教育学校等の新規開設年次の前々年度末（2年前）までに、通学の安全確保に配慮について検討を完了します。

(2) 周知

義務教育学校への再編対象校となっている地域を中心に、地域説明会の実施や教育委員会のホームページ、保護者への配布物や町内会の回覧などを通じて小中連携・小中一貫教育について広く周知し、理解を深めるよう努めます。

7. 今後の進め方

(1) 通学の安全 (P18)

通学路の変更を伴う場合、学校、PTA、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動推進員等により構成を予定している開校準備協議会の中で協議しながら、通学路や通学距離の実態を把握し、スクールバス等の導入などについて、義務教育学校の新規開校年次の前々年度末までに、通学の安全確保について検討を完了します。

(2) 周知

義務教育学校への再編対象校となっている地域を中心に、地域説明会の実施や教育委員会のホームページ、保護者への配布物や町内会の回覧などを通じて小中連携・小中一貫教育について広く周知し、理解を深めるよう努めます。

また、将来、義務教育段階へ進学する幼稚園・保育園・認定こども園の子供たちの保護者へも関係団体と連携し、周知を図ってまいります。

(4) 学校選択制の検討

釧路市では、通学区域制度を採用し、児童生徒の就学する学校を指定していますが、児童生徒・保護者の意思の尊重と特色や魅力のある学校づくりの観点から学校選択制度について、義務教育学校等の新規開校年次の前年度開始時(2年前)までに、条例・規則等の整備を含め、検討を完了します。

(4) 学校選択制の検討

釧路市では、通学区域制度を採用し、児童生徒の就学する学校を指定していますが、児童生徒・保護者の意思の尊重と特色や魅力のある学校づくりの観点から学校選択制度について、令和6年度末までに、条例・規則等の整備を含め、検討を完了します。

(5) 魅力ある学校づくりの検討

「施設一体型の義務教育学校」の開設にあたり、保護者、地域住民、学校関係者や教育委員会がより良い環境を整えるための思いを共有し、魅力ある学校づくりに向け、その学校ならではの歴史や特色のある教育を発展させるため、開校準備協議会において検討を進めてまいります。

(6) 学校施設整備の検討

施設一体型の義務教育学校の施設整備においては、原則、既存学校施設を利用し、学年段階の区切りに対応した空間構成や施設機能、9年間一貫性のある教育活動を含めた学校運営を可能とすると同時に、バリアフリーの対応や児童生徒の発達段階に応じた安全性を備えた施設環境を整備してまいります。

その具体的な検討にあたっては開校準備協議会において協議することとし、地域の実情や各学校の特性などに配慮いたします。

	<p>(7) <u>小中連携の推進</u></p> <p><u>「釧路市がめざす学校のすがた基本計画」の計画期間内において、施設一体型の義務教育学校の設置が予定されず、従来の小学校・中学校として継続する地域においても、教育課題の解消や緩和に向けて、既存の学校形態の中で、令和4年度から実施している「小・中ジョイントプロジェクト」を今後も継続的に実施するなど、小中連携の充実に取り組んでまいります。</u></p> <p><u>また、コミュニティ・スクールではこれまでの枠組みを超えて、中学校区における保護者や地域住民との効果的な連携を図ってまいります。</u></p>
<p>8. 中間年における検証 (P19)</p> <p>釧路市教育の基本理念である「釧路の風土で生まれ 未来を拓く 心豊かな人づくり」の実現に向けて、小中連携・小中一貫教育の実施状況について、本計画の中間年である令和9年度において検証を行います。</p> <p>その際には、義務教育学校設置とならない地域における小規模小学校について、学級編制状況及び教育活動への影響等について引き続き注視することとします。</p> <p>また、教育制度の変更や状況に変化があった場合は、計画を見直します。</p>	<p>8. 中間年における検証 (P20)</p> <p>釧路市教育の基本理念である「釧路の風土で生まれ 未来を拓く 心豊かな人づくり」の実現に向けて、小中連携・小中一貫教育の実施状況について、本計画の中間年である令和9年度において検証を行います。</p> <p><u>義務教育学校設置とならない地域における小規模小学校について、学級編制状況及び教育活動への影響等について引き続き注視することとします。</u></p> <p>また、教育制度の変更や状況に変化があった場合は、計画を見直します。</p>